

HULFT

CASE STUDY

HULFT-WebFT

田辺三菱製薬株式会社



SaaSとのデータ連携基盤をHULFT-WebFTで構築 社内システムを支える既存HULFTの活用により データ運用の効率化と業務効率の向上を実現

優れた抗炎症作用のある湿疹・皮膚炎の治療薬。

湿疹 かぶれ 皮膚炎

湿疹・かぶれ・皮膚炎に
フルコートF 軟膏
FLUCORT F
2-Fluorocortolone

【効能】
●化膿を伴う次の程度：湿疹、皮膚炎、あせも、かぶれ、しもやけ、掻きざれ、じんましん
●化膿性皮膚疾患（びびり、めんじょう、毛のう炎）

指定医薬部外品

元気プラス **α**

肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に
アスパラドリンク **α**

タウリン
1500
配合

体に宇宙が選んでくる。

心・体・気のバランスを整え、
人間が本来持っている力を引き出します。
それは、人体の自然治癒力です。
宇宙の「調」を整え、身体医学の考え方で、
アンバサダーは、この意識から生まれた企業として、
引継ぎの運びです。
自分の力を引き出す力こそが、
宇宙の調を整える力です。
宇宙の調を整え、
自分の力を引き出す力こそが、
宇宙の調を整える力です。

ナンバオ

自分の力を引き出す力こそが、
宇宙の調を整える力です。

コートF シリーズ
子どものデリケートな皮膚には
コートF シリーズの皮膚治療薬

コートF AT軟膏 子ども	コートF ATクリーム 子ども	コートF MD 軟膏 5g
コートF AT軟膏 10g	コートF ATクリーム 10g	コートF MD 軟膏 10g

田辺三菱製薬株式会社

SaaSとのデータ連携基盤をHULFT-WebFTで構築 社内システムを支える既存HULFTの活用により データ運用の効率化と業務効率の向上を実現

医薬品の創製を通じて、人々の健康を守り、豊かな生活に貢献する田辺三菱製薬。同社はHULFT-WebFTを活用し、業務を支えるSaaS型営業支援システムと社内システムとのシームレスなデータ連携基盤を実現した。SaaSに入力したデータは既存のHULFTと連携し、自動的に社内システムに反映される仕組みだ。これにより、MR(医薬情報担当者)の業務効率が大幅に向上し、システムの運用管理も効率化された。HULFT-WebFTは接続先を容易に追加でき、データ授受の運用も一本化できる。このメリットを活かし、同社は外部の協力ベンダーとの情報連携基盤に活用するなど、用途は広がりを見せ始めている。



田辺三菱製薬株式会社
情報システム部
マネジャー
平松 茂基氏

価値ある医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献する田辺三菱製薬。関節リウマチ治療薬「シンポニー」や「レミケード」、2型糖尿病治療剤「テネリア」や「カナグル」などの医療用医薬品のほか、皮膚疾患治療薬の「フルコートf」、生薬製剤の「ナンパオ」などのOTC医薬品も幅広く製造・販売する。

SaaSと社内システムをつなぐ 効率的なデータ連携基盤が必要に

医薬品メーカーは医薬品を製造・販売するだけでなく、効能や用法、副作用情報などの最新情報を医療機関に伝達したり、医療従事者から臨床の情報を収集する活動も行っている。その役割を担うのが、MR(医薬情報担当者)である。「関係会社も含め、全国約1800人のMRが担当医療機関を訪問し、情報の提供・収集に努めています」と同社の平松 茂基氏は話す。

同社は外勤活動の多いMR向けにタブレット端末を支給するとともに、SaaS型の営業支援システムを導入し、外出先でも業務を行える環境を整備している。「MRはタブレットを使ってインターネット経由で営業支援システムにアクセスし、営業日報の入力、訪

問スケジュール管理、社内での医療関連情報の共有などに役立てています」(平松氏)。

しかし、SaaS型の営業支援システムは社内の基幹システムとは別システムの運用。「MRはオフィスに戻ってから、営業支援システムの情報を社内システムにアップロードしたり、2つのシステムが夜間処理で連携された結果を見ながら情報を確認しなければなりません」と話す平松氏。これでは情報確認に手間もかかるし、システム運用の負荷も高くなる。

SaaS型の営業支援システムと社内システムをいかにシームレスに連携させるか——。「当初はFTPによるファイル送受信の仕組みも考えましたが、通信が途絶した場合のトラブル対応や再送信の手間など運用面での負荷が大きい。運用の手間がかからない、最適な仕組みを模索していました」と平松氏は経緯を語る。

HULFTとの連携で運用を自動化 多様な連携処理の集約も可能に

そこで同社が採用したのが、セゾン情報システムズのHULFT-WebFTである。これはインターネット環境のみで拠点間のデータ連携システムを容易に構築

User Profile



田辺三菱製薬株式会社

本社
大阪市中央区道修町3-2-10

設立日
1933年12月15日

資本金
500億円

売上高
4151億2400万円(2015年3月期)

従業員数
8457人(2015年3月31日現在)

事業内容
「すべては患者さんのために」という経営理念を企業活動の原点に据え、独自の価値をスピーディに提供することをモットーとする。自己免疫疾患、糖尿病・腎疾患、中枢神経系疾患などを中心とした医療用医薬品のほか、皮膚疾患治療薬の「フルコートf」、ドリンク剤の「アスパラドリンクα」、生薬製剤の「ナンパオ」などのOTC医薬品も幅広く製造・販売する。

できるミドルウェア。ファイル転送ソフトのHULFTともシームレスに連携できる。

「当社は基幹システムを中心にHULFTを約200ライセンス導入し、業務関連データの連携基盤を構築・運用しています。HULFT-WebFTを使えば、既存のHULFTと連携し、SaaS型の営業支援システムと社内システム間のデータ転送処理を自動化できます。同じHULFTシリーズなら、統一的な運用が可能になり、一気通貫のデータ連携を実現できると判断しました」と平松氏は選定の理由を述べる。

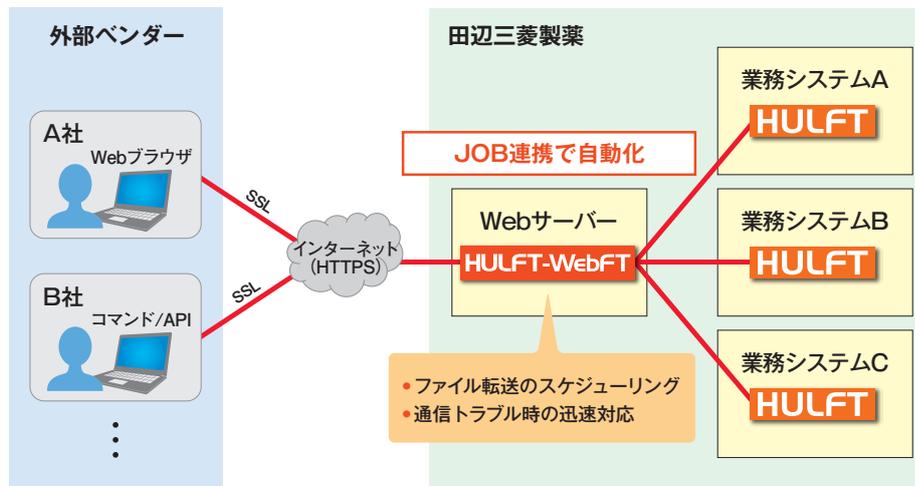
しかも、外部サービスとHULFT-WebFTをつなぐ通信経路はSSLに対応しており、情報漏えいをはじめとするセキュリティリスクも低減できる。「HULFTをベースにした仕組みでデータ授受の方法論が確立されているので、社内のセキュリティ審議も問題なくクリアできました」(平松氏)。

利用シーンに応じた多様な操作環境を実現できる点も評価した。HULFT-WebFTはWebブラウザから操作できるほか、公開されたコマンド/APIやクライアントモジュールを利用することも可能だ。自社に最適な利用環境を柔軟に構築できるのだ。

連携処理を集約できるメリットも大きい。FTPで開発する場合、新たに外部サービスとの連携が必要になると、サービス単位で連携処理を追加しなければならない。「HULFT-WebFTを活用すれば、連携先を登録するだけで開発の手間はほとんど不要。今後の用途の広がりにも柔軟に対応しつつ、運用を一本化できます」と平松氏は評価する。

煩雑な作業を解消し業務効率が向上 外部ベンダーとの情報連携にも活用

現在、同社はHULFT-WebFTのコマンド/API連携機能を使って、SaaS



田辺三菱製薬におけるHULFT WebFTの活用イメージ

クラウドなどの外部サービスや外部の協力ベンダーとのデータ連携基盤にHULFT WebFTを活用している。複数の社外接続先を一本化できる上、社内システムのデータ伝送を支えるHULFTとのシームレスな連携が可能になり、情報活用のレベルアップとシステム運用の効率化を実現した。

型の営業支援システムと社内システムを連携。ファイル単位でポリシーを設定し、一定時間ごとに社内システムからSaaSのデータを収集する仕組みを実現している。「FTPベースの仕組みを作り込む場合に比べて、開発の手間を省力化し、より短期間での導入を実現できました。ファイル転送のスケジューリング、通信トラブル時の対応なども効率的に行えます」と平松氏は述べる。

業務上のメリットも大きい。MRは以前のようにSaaS型の営業支援システムと社内システムを使い分ける必要がないからだ。「オフィスに戻ったMRは、煩雑なデータの引き継ぎや確認の手間がなくなり、業務効率が向上しました」と平松氏はメリットを語る。

新たに情報連携が必要になった場合も、HULFT-WebFTを介することで、接続経路の追加を容易に行える。「今後の運用次第で、コストメリットのさらなる向上が期待できます」(平松氏)。

実際、用途は既に広がりを見せ始めている。その1つが、公開サイトの最適

化業務への活用だ。同社はWebサイトを通じて最新の医薬品関連情報の提供に努めている。情報をわかりやすく伝達するには、その見せ方や導線の張り方も考える必要がある。そこで同社は外部ベンダーの協力を得て、Webサイトのページビューや遷移履歴などの統計情報を集計・分析している。「外部ベンダーから定期的に収集される情報の連携基盤として、HULFT-WebFTの活用を近く始めます」と話す平松氏。

具体的には主にメールによるファイル添付で行っていた手法をHULFT-WebFTに移行する。「外部ベンダーはインターネットに接続しWebブラウザ経由で情報を送ることができるため、設備投資の必要がなく、新たな仕組みにスムーズに移行できます。データ伝送の作業も容易になるので、外部ベンダーの作業工数の低減につながります」と平松氏は期待を込める。同社にとってもメリットが大きい。SSLによるセキュアな情報伝送が可能になる上、HULFTと連携することで運用効率の向上も見込めるからだ。

今後はデータ連携基盤の利用拡大を見据え、HULFTシリーズを集中管理するソリューションとして、HULFT-HUBの活用推進を目指す。「HULFT-

HUBを活用すれば、社内に分散するHULFTの統合管理や業務単位のデータ伝送管理も可能になり、大きな効果が見込めます。セゾン情報システ

ムズには、今後もHULFTシリーズの有効活用に向けて、有意義な提案を期待しています」と平松氏は今後の展望を語った。

- HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾン情報システムの登録商標または商標です。
- UNIXは、The Open Groupの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本カタログに記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付記していません。



[お問合せ先]

株式会社 **セゾン情報システムズ**

HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620

※利用時間 9:15～17:45(土・日・祝日および年末年始を除く)

HULFT事業部

〒170-6021 東京都豊島区東池袋3-1-1
サンシャイン60 21F
TEL 03-3988-5301 FAX 03-3980-4830

名古屋営業所

〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19
住友生命名古屋ビル 21F
TEL 052-588-5591 FAX 052-588-5592

HULFT Pte.Ltd.

80 Raffles Place, UOB Plaza 1, #35-07
Singapore 048624
TEL +65 6248 4625 FAX +65 6248 4501

西日本営業部

〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16
肥後橋MIDビル4F
TEL 06-6479-1151 FAX 06-6479-1152

九州サテライトオフィス

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27
九勤博多駅前ビル
TEL 092-434-4527 FAX 092-434-4528

URL <http://www.hulft.com/> e-mail hulft@saison.co.jp

このカタログの記載内容は、2015年11月現在のものです。本カタログの記載内容は予告なく変更することがあります。